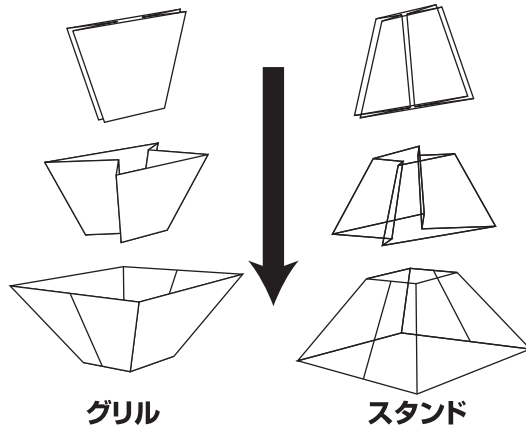


焚き火ロEグリル

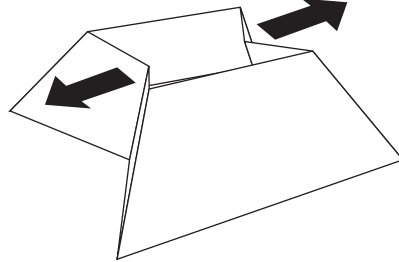
[部品構成表]	グリル	(1)	灰受け	(1)
	スタンド	(1)	キャリーバッグ	(1)
	焼き網	(1)		
	ロストル	(1)		
	ボトムプレート	(1)		

組み立て手順

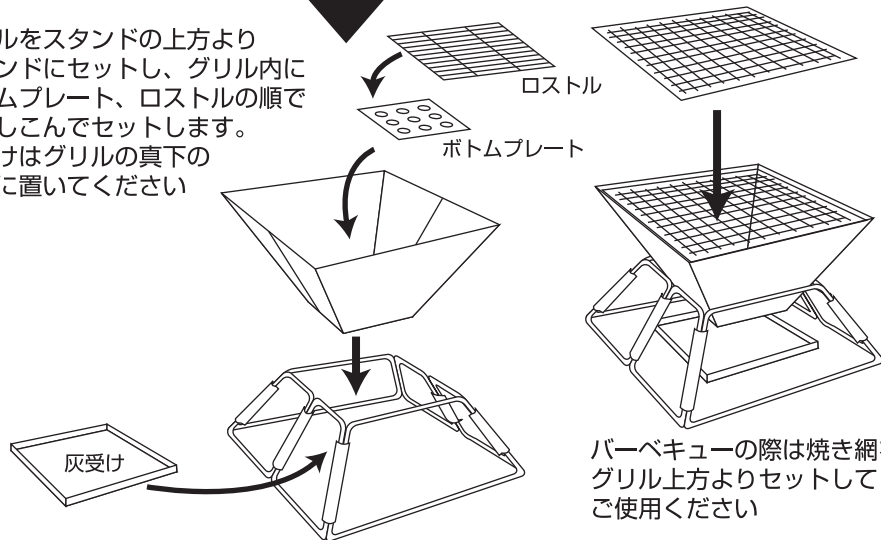
グリルとスタンドを組み立てます
いずれも図の用に広げるようにして
組み上げます。



このように中央から内に向けて
折れ曲がっている2面を外側に向け
引き出すようにします。

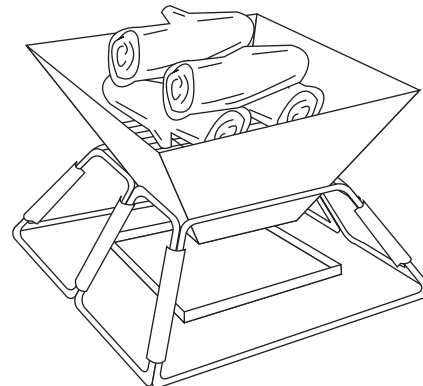


グリルをスタンドの上方より
スタンドにセットし、グリル内に
ボトムプレート、ロストルの順で
落としこんでセットします。
灰受けはグリルの真下の
地面に置いてください



バーベキューの際は焼き網を
グリル上方よりセットして
ご使用ください

焚き火を行う際は、焼き網は使用せずロストルの上に
薪を置いてご使用ください。



▲使用上の注意

- 禁止! 着火後にグリルの移動は行わないでください。
- 禁止! 使用中のグリルは素手で触らないでください。
- 禁止! 着火後は、炭がはぜたり火の粉などが跳ぶ場合がありますので、顔をなどを近付けることはお止めください。また、燃えやすいものの周りでの使用もお止めください。
- 禁止! 着火剤や燃料としてガソリン、灯油、ガス、アルコールなどはご使用にならないでください。
- 禁止! グリルは、屋内やテント内又タープの下では使用しないでください。
- 禁止! 使用中はお子様やペットを器具の周りで遊ばせないでください。
- 警告! 組み立ては説明書をよく読み、正しく行ってください。組み立てが不十分だと転倒する恐れがあります。
- 警告! 分解、組み立て、着火、調理、消火の際には革手袋などを着用し、やけど等のケガに十分ご注意ください。
- 警告! ご使用後の残り火の始末には十分にご注意ください。完全に燃え尽き、グリルや火床が冷えたことを確認した後に灰処理、撤収の作業を行ってください。
- 警告! 消火のために器具に水をかけると急激な温度変化により器具が変形することがあります。又、高温の水蒸気が発生し火傷の危険にもつながりますのでお止めください。
- 警告! 風の強い日は危険ですので、焚き火は行わないようにしてください。
- 注意! 焚き火を行う際は事故防止のために、必ず消火用の水をバケツなどに入れてご用意ください。
- 注意! 焚き火を行う際は燃料の入れ過ぎにご注意ください。炎が高く上がり非常に危険です。
- 注意! 焼き網の使用後は、食べ物のカス等をきれいに取り除き、十分に乾燥させた上で食用油を塗ってから冷暗所に保管してください。
- 注意! 燃料の入れ過ぎは、本体の変型やひどい変色につながる恐れがあるため、必要以上は入れないでください。
- 注意! キャリーバッグに収納する際は完全に冷えた状態で収納してください。

お使いになる前に...

- 網を洗浄する。
 - グローブを着用する。
 - (着火方法)
- 1.ロストルの中心に着火剤を置き、その上に空気の通り道を作りながら燃料を積み上げる。(ジェル状着火剤は、最下部の燃料上に塗る)
 - 2.柄の長いライター等で着火剤に着火する。
 - 3.バーベキューの場合は、全ての木炭が着火状態なのを確認した後、ロストル上にまんべんなく広げてください。所々炭が二重に重なるぐらいが適量です。
 - 4.備長炭は、着火状態の木炭を着火剤にして着火してください。